

手を離なく親と子



令和6年10月 発行:登別市教育委員会・学校教育グループ「子育てコラム」 No38

☆家庭でのオンライン利用のルール☆

～話し合ってみませんか家庭におけるルール作り～

子どものスマートフォン（スマホ）の所有率は年々高くなり、それに伴って生活習慣の乱れや、ネットいじめなどの問題、さらには、子どもが犯罪の被害者や加害者になってしまうことも心配されます。

子どものインターネット活用状況について様々な調査が報告されています。その中からいくつかを紹介しますので、ご家庭での話題にしてみてもはいかがでしょうか。

～モバイル社会白書 2023 年版より～

➤ 小中学生の3人に2人がSNSを利用

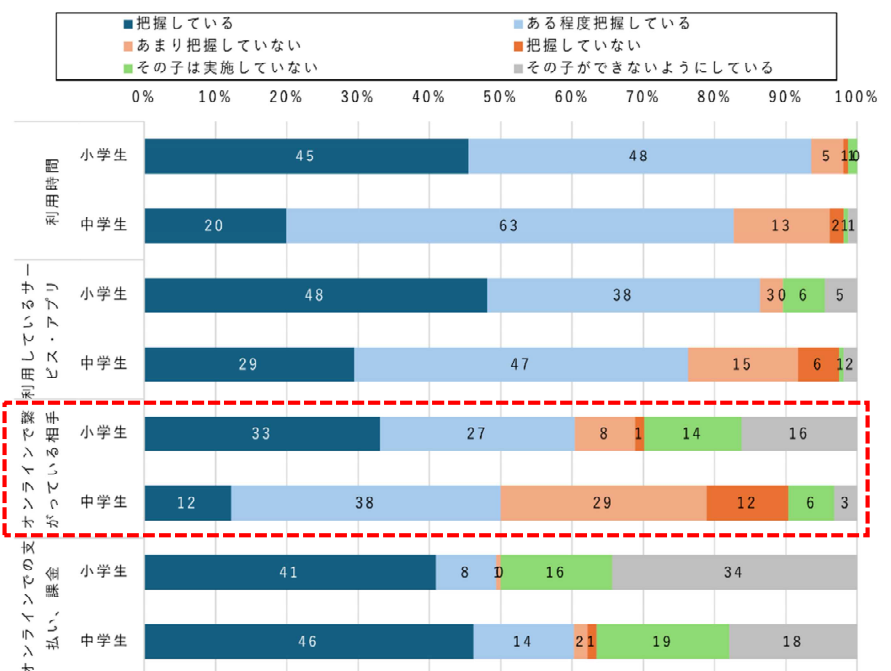
LINE・Instagram・TikTok・Xのいずれかを利用している小中学生は上昇傾向で、63%となりました。特に中学生は、ほとんどの学生が利用しています。

➤ 約4割の中学生の親は子どもがスマホを利用しオンラインで繋がっている相手を把握していない

スマホを所有させている小中学生は、小学生低学年は18%、高学年42%、中学生になると79%になります。それでは所有させている親は、どの程度子どものスマホの利用を把握しているのでしょうか。「オンラインで繋がっている相手」については、特に把握していない親の割合が高く、中学生では約半数となります。

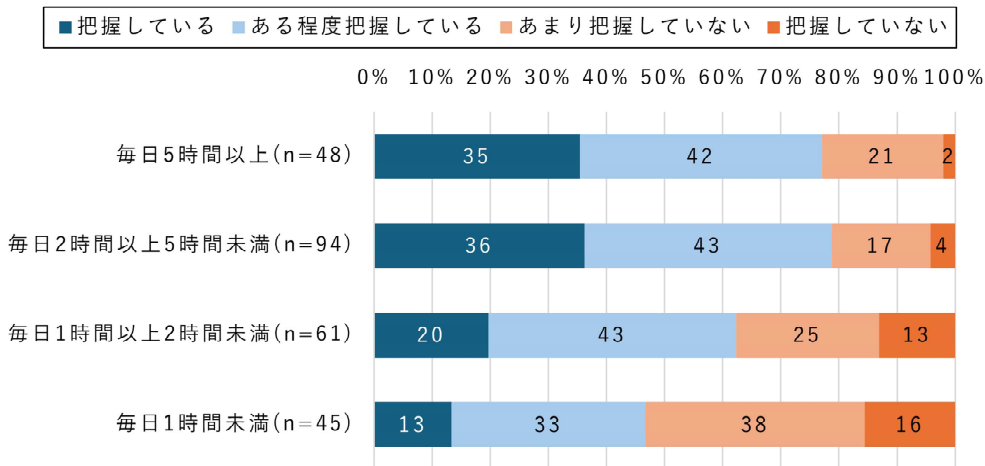
SNSやゲームなど、様々な利用シーンで子どもたちは、繋がっており、親も把握しづらい状況が垣間見えます。

◆【小中学生】子のスマホ利用を親がどれだけ把握しているか



➤ 親と子の会話時間が長いとオンラインで繋がっている相手を親が把握している割合が高い

◆【小中学生】親と子の会話時間とオンラインで繋がっている相手の親の把握



親子の会話時間が長いと、オンラインで繋がっている相手を把握している割合が高い傾向です。ふだんの親子の会話の中で、オンラインで繋がっている相手について、話題にあがっている可能性があります。

※小学生n=154人、中学生n=156人 スマホを所有している人が対象

2023年11月に行われた訪問留置調査により、回答数は小学生及び中学生とその親600人 (以上、出典: NTTドコモ モバイル社会研究所ホームページ <https://www.moba-ken.jp/>)

☆ ふだんの会話の中で・・・

子どもたちのオンラインの使い方を家の中で話題にし、子どもと一緒に家庭でのルール作りをしてみたいはかがでしょうか。

POINT 1

ルールがトラブルから自分自身を守ってくれることをきちんと伝える。

POINT 2

お互いに納得できるように、話し合って作る。

POINT 3

子どもが守れるルールを作る。

POINT 4

具体的なルールを作る。

POINT 5

守れなかったらどうするかを決めておく。

POINT 6

トラブルがあったら保護者に相談するよう決めておく。

ルール作りのポイント



ひとりで悩まず相談しましょう

何か困りごとがあれば、遠慮なく相談してください。

◎登別市いじめ相談（教育相談）電話

☎85-0085（月～金曜日 9時から17時）

◎登別市教育指導室 『メール相談』

Eメール：tsunagu@city.noboribetsu.lg.jp